

議事録

(六十七)

不要記

滿鐵附屬地及關東州ノ性質ニ關スル永田代議士ノ質問ニ關スル件

第六十六議會ニ於テ民政黨代議士永田善三郎君ヨリ關東州租借地及滿鐵附屬地ノ領土權ノ歸屬如何ノ問題ニ付別紙ノ通質問ノ要旨豫メ内示アリタルカ同議會ハ會期短カリシコト其ノ他ノ關係上結局議場ニ於テ右質問ヲ見ルニ至ラサリシ處今期第六十七議會開會セラルルヤ同代議士ヨリ廣田大臣ニ對シ頻リニ右質問要旨ニ對スル外務省ノ見解ヲ詳細ニ説明アリタキ旨督促アリ松本參與官ヨリ此ノ問題ニ付本省ノ見解ヲ提示スルノ外無キ旨申越アリタルニ付テハ別紙ノ趣旨ニ依リ同參與官ヨリ適宜應酬ノコトト致度

外務省

永田善三郎代議士ノ質問要旨及之ニ對スル回答要旨

(一問)

滿鐵附屬地及關東州ノ性質

(一) 滿洲國建國宣言ニ依レハ建國會議ニ出席シタルハ「奉天、吉林、黑龍江、熱河、東省特別區、蒙古各旗盟ノ官紳士民」トアリ、然ルニ東省特別區ト同様ノ性質ヲ有スル滿鐵附屬地ニハ何等言及セス又勿論關東州ニ就テハ一言モ觸ルル所ナキヲ以テ是等兩地域ハ滿洲國ノ領土ニ非ス
(二) 滿洲國ノ主權ハ支那ノ主權ヲ繼承シタルモノニ非ス、支那ノ主權ト何等ノ因果關係無ク全然新ニ生レタルモノナリ、故ニ滿洲國ナル新國家ト日本カ三十年來保持シタル附屬地及關東州トノ間ニハ何等ノ因果關係無ク是等兩地域ハ滿洲國ノ領土ニ非ス
(三) 附屬地及關東州ヲ日本ニ貸租シタル支那ハ條約滿期ニ至ル迄之ヲ安全確實何等ノ危害ナカラシメテコソ之ヲ回復スル權利ヲ有ス、然ルニ滿洲事變ニ當リ附屬地及關東州ニ對シ脅威アリタルニ不拘支那ハ其ノ脅威ヲ排除セサリシカ故ニ是等地域ヲ回復スル權利ヲ

外務省

喪失シタルモノナリ
從テ滿洲國ノ領土ニモ非ス又支那其ノ權利ヲ失ヒタル附屬地及關
東州ハ日本ノ領土タラサルヘカラス

外務省

9.12

(答)
(一)

關東州及滿鐵附屬地ノ地域カ元來滿洲奉天省ニ屬スルモノナルコト
ハ(尤モ附屬地ハ一部吉林省ニ入込ミ居レリ)日清媾和條約第二條
及奉天半島還附條約第一條ニ關東州租借地ノ地域ヲ指シテ「奉天省
南部ノ地」ト謂ヘルニ依ルモ明ナリ、只關東州租借權及滿鐵附屬地行
政權設定ノ結果關東州ニ於テハ支那側主權ノ行使カ一定期間内停止
セラレ、又附屬地ニ於テハ支那側主權中行政權ノ行使カ一定期間停
止セララルノ結果ヲ生シタルノミ、
又東省特別區ト滿鐵附屬トハ共ニ舊東清鐵道附屬地ナリシ點ニ於テ
類似スルモノアリト雖モ、其ノ法律的性質ニ於テハ大イニ異ル、即
チ東省特別區ハ滿洲ノ各省ノ何レニモ屬セス、他ノ各省ト併立スル
一行政區劃ナリ、從テ例ヘハ右特別區域内ニ於ケル支那人ノ犯罪事
件ノ如キハ特別區ノ官憲ニ於テ處理シ吉林省及黑龍江省ノ官憲ハ何
等關與スル所ナシ、反之滿鐵附屬地ニ於ケル此ノ種事件ニ付テハ犯
人ハ奉天省官憲ニ引渡シ處理セシム、此ノ意味ニ於テ附屬地モ奉天

外務省

9.12

省ノ管轄ニ屬シタルモノト言フヘシ、
要之、滿洲國獨立宣言ノ「奉天、吉林、黑龍江、熱河、東省特別區」
ノ官紳士民云々ナル字句ハ附屬地及關東州ヲ除外スル意味ヲ有スル
モノニ非ス一現ニ附屬地居住ノ滿人ニシテ奉天省人トシテ獨立運動
ニ參劃シタル者アリ、滿洲國獨立宣言ニ於テ滿洲國ノ領土ノ範圍ニ
關係アル部分ハ寧ロ「舊時本國ト別ニ一國」タリシ「滿蒙」ノ獨立
ヲ決議ス云々ノ字句ト見ルヘキナリ。

外務省

9.12

(二)ノ一

帝國ハ日滿議定書ニ依リ滿洲國ヲシテ從來帝國カ滿洲ニ於テ有シタル諸權益ヲ確認尊重スルコトヲ約セシメタリ、而シテ右帝國ノ諸權益ノ中ニハ日露「淸和條約」及日支「滿洲ニ關スル條約」ニ依リ帝國ノ獲得シタル關東州租借權及滿鐵附屬地行政權ヲ含ムコト勿論ナリ、カクシテ關東州及滿鐵附屬地ノ我權益ニ關スル日支間條約關係ハ今ヤ轉シテ日本國ト新國家滿洲國トノ間ノ條約關係トナレリ、從テ關東州ニ付テハ滿洲國トノ間ニ租借關係ヲ生シ、附屬地ニ付テモ同様滿洲國トノ間ニ法律關係ヲ生スルニ至リタルモノナリ。

(二)ノ二

滿洲國獨立前ニ於テ滿洲ノ領土權ハ支那ニ屬シタリ、只其ノ領土權ハ關東州及滿鐵附屬地ノ關スル限り日支間條約ニ依リ制限セラレタル領土權ナリキ、滿洲國ハ滿洲ノ獨立ヲ宣言シ滿洲ヲ以テ其ノ領土トナシタリ、其ノ領土權支那ノ領土權ヲ繼承シタルモノニシテ、從テ其ノ領土權ハ關東州及滿鐵附屬地ニ關スル限り制限セラレタルモノナリ、獨立ノ結果トシテ獨自固有ノ領土權ヲ滿洲ニ伸張スルニ至

外務省

9.12

レルニハアラス、此ノ點ニ關シ世上往々國際法上ノ領土權ト國內法上ノ主權トヲ混同スルカ爲ニ立論ノ正鵠ヲ失スルニ至ル、蓋シ國家ノ領土權トハ一種ノ國際法上ノ物權ニシテ、其ノ領域ニ屬スル土地ノ一般的支配利用ヲ爲ス權利ナリ、領土權ハ制限セラレルコトアリ（支那ノ租借地、パナマノ運河地帯、關東州北方ノ中立地帯等其ノ著例ナリ）合意ニ依リ讓渡セラレルコトアリ（領土ノ割讓）合意ニ依ラス移轉繼承セラレルコトアリ（一國家内ノ一地方ノ獨立）而シテ國家ハ其ノ國際法上ノ領土權ノ結果トシテ其ノ領土上ニ自ラ其ノ固有ノ主權（國內法上ノ意義ノ主權）ヲ行ヒ又ハ他國ヲシテ或期間自己ニ代リ其ノ（他國ノ）主權ヲ行ハシムルコトヲ得ルナリ、滿洲國ノ主權ハ其ノ固有ノ主權ニシテ支那ノ主權ヲ分割繼承シタルモノニ非サルハ勿論ナルモ、コノ事實ト滿洲國カ附屬地及關東州ニ關スル支那ノ領土權ヲ繼承シタル事實トハ截然區別シテ論スルコトヲ要ス、

外務省

(三)

滿鐵附屬地及關東州租借地ヲ日本ニ供與シタル支那ハ其ノ供與期間中附屬地及租借地ニ對シ脅威アリタル場合ニ於テ日本ノ爲ニ之ヲ排除スル義務ヲ有ストノ說ハ條約上ニ其ノ根據無シ。日露戰爭ニ於テ清國ハ關東州及東清鐵道附屬地ヲ防護スル何等ノ措置ヲ講セザリシニ不拘、日露兩國ハ關東州及東清鐵道ニ關スル露清條約ノ依然有効ナルヲ認メタルカ故ニ之カ讓渡ニ關シテハ「清國政府ノ承諾」ヲ得ルノ要アルコトヲ確認シ（日露講和條約第五條及第六條）日本ハ清國ヨリ右承諾ヲ取付クルニ際シ「清露兩國間ニ締結セラレタル租借地並鐵道敷設ニ關スル原條約ニ照シ努メテ遵行スヘキコト」ヲ約シ（日支間「滿洲ニ關スル條約」第二條）以テ露清間ノ條約ヲ繼承セラルモノナルコトヲ明ニシタリ。

一方右「滿洲ニ關スル條約」ニ依ル日支間ノ關係ハ日滿議定書ノ締結ト共ニ斷絶セラレ、今ヤ轉シテ日滿間ノ條約關係トナルニ至レルコト上述ノ通ナルヲ以テ、今日ニ於テハ支那カ關東州及滿鐵附屬地

外務省

ニ對スル外部ヨリノ脅威ヲ排除セルトセサリシトヲ問ハス、如何ナル場合ニ於テモ是等地域ヲ支那ニ還附云々ノ問題ハ在リ得サル次第ナリ。

は(ト)

外務省

REEL No. A-0559